

3. 3 学生生活

約470万人にもものぼるフリーターが社会問題となり、更に近年では全く就職に興味を示さないニート(NEET=Not in Employment, Education or Training)が現れていると言われている。本校でも、中学校の偏差値で分類されて本校に入学するために学習意欲のない学生が増えていると以前から教官会で触れられていた。また平成14年度の学生の課外活動調査より、部活動への参加学生の減少や、活動の衰退が報告された。

本校は高校生年代から大学生年代までの学生が学ぶ高等教育機関であるが、本校卒業生の中には就職してすぐ辞めたり、就職を希望しない卒業生がいる。本校を社会にでる通過儀礼としか考えず、学業以外に興味を持っている学生がますます増えている。”就職に有利”、”生涯の友人が得られる”とかを強調し”押付け支援”、”管理指導”等の従来からの本校での学生生活支援と指導を明らかにし、将来の学生生活の支援と指導とは何かを考える一助となることを願っている。

3.3.1 学生生活の支援

[1] 奨学金制度、授業料免除の状況

学力優秀な学生であるが、経済的理由により授業料の納入が困難な場合、日本育英会、あるいは企業や企業が実施している奨学金の貸与、給付の便宜を図っている。更に、本校では授業料の免除または寄宿舎料の免除制度を設けている。しかし、毎月700円の寄宿舎料まで困窮して、これの免除を願う寮生が全くいないことも事実である。

授業アンケートから明らかなように放課後あるいは休日の時間を授業の予習復習したり読書する学生は殆どいない。また平成14年度自己点検書から部活動する学生は年々減少していることが報告された。多くの学生はアルバイトをして携帯電話の通話料金の支払、あるいはバイクや車等を購入し、立派な消費社会の一員として消費社会を背負っている。高度成長期になって学生が消費社会の一員とされるまでは勉学や部活動に学生は興味を持たたかもしれない。しかし、現在の企業は現在の学校で提供するものより面白いものを学生に提供し、学生を大切な消費者と見なしている。現行の学生の支援は、下記に報告する従来の延長で良いのか考える必要がある。

表3.3.1 授業料免除の状況

年度	学期	学生数 (休学者除く)	申請 者数	全額免除 者数(a)	半額免除 者数(b)	計(a+b)	不許可 者数	超過申 請者数
平成 10 年度	前期	1,050	81	55	10	65	16	0
	後期	1,038	77	53	9	62	15	0
	計	2,088	158	108	19	127	31	0
平成 11 年度	前期	1,050	94	60	12	72	22	0
	後期	1,041	81	52	14	66	15	0
	計	2,091	175	112	26	138	37	0
平成 12 年度	前期	1,065	96	64	7	71	37	0
	後期	1,054	79	54	6	60	25	0
	計	2,119	175	118	13	131	62	0
平成 13 年度	前期	1,062	91	42	25	67	24	0
	後期	1,038	87	44	21	65	22	0
	計	2,100	178	86	46	132	46	0

平成 14 年度	前期	1,022	71	35	25	60	11	0
	後期	1,013	71	28	28	56	15	0
	計	2,035	142	63	53	116	26	0
平成 15 年度	前期	1,011	91	46	14	60	31	12
	後期	1,005	83	42	22	64	19	0
	計	2,016	174	88	36	124	50	12

表 3.3.2 奨学生の採用状況

平成10年5月1日現在

団体名	本科						専攻科			計
	1年	2年	3年	4年	5年	小計	1年	2年	小計	
日本育英会	22	22	24	30	25	123	5	7	12	135
愛媛県	2	5	2	2	2	13	0	0	0	13
その他	0	2	5	1	3	11	0	1	1	12
計	24	29	31	33	30	147	5	8	13	160

平成11年5月1日現在

団体名	本科						専攻科			計
	1年	2年	3年	4年	5年	小計	1年	2年	小計	
日本育英会	14	23	25	21	22	105	4	2	6	111
愛媛県	0	6	2	3	2	13	0	0	0	13
その他	3	1	2	3	2	11	0	0	0	11
計	17	30	29	27	26	129	4	2	6	135

平成12年5月1日現在

団体名	本科						専攻科			計
	1年	2年	3年	4年	5年	小計	1年	2年	小計	
日本育英会	17	23	29	23	20	112	2	4	6	118
愛媛県	3	0	6	1	3	13	0	0	0	13
その他	4	2	1	3	3	13	0	1	1	14
計	24	25	36	27	26	138	2	5	7	145

平成13年5月1日現在

団体名	本科						専攻科			計
	1年	2年	3年	4年	5年	小計	1年	2年	小計	
日本育英会	18	25	25	31	29	128	0	2	2	130
愛媛県	2	3	1	3	0	9	0	0	0	9
その他	0	3	3	1	3	10	0	0	0	10
計	20	31	29	35	32	147	0	2	2	149

平成14年5月1日現在

団体名	本科						専攻科			計
	1年	2年	3年	4年	5年	小計	1年	2年	小計	
日本育英会	24	19	28	22	28	121	0	0	0	121
愛媛県	6	1	3	0	2	12	0	0	0	12
その他	0	3	3	3	1	10	0	1	1	11
計	30	23	34	25	31	143	0	1	1	144

平成15年5月1日現在

団体名	本科						専攻科			計
	1年	2年	3年	4年	5年	小計	1年	2年	小計	
日本育英会	28	31	25	25	23	132	1	0	1	133
愛媛県	6	8	0	3	0	17	0	0	0	17
その他	2	1	3	3	1	10	0	0	0	10
計	36	40	28	31	24	159	1	0	1	160

[2] 学生相談件数

表3.3.3 学生相談状況(人)

年度	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
延べ件数	9	13	53	41	22	25	41	76	54	62
内 訳	心因性				3	2	13	0	3	2
	交友関係				11	12	12	20	6	8
	学業関係				6	10	1	13	16	27
	不登校				1	0	6	0	0	2
	その他				1	1	9	43	29	23

[3] 学生の健康管理状況

15年度の健康診断実施状況は、14年度と同じなので、省略する。

3.3.2 課外活動の状況

課外活動は、正規の課程による授業以外に行う本校の組織的活動であり、授業と並行して行われる。従って本活動は、学校教育において重要な役割と使命を持った活動である。学生にとっては、この活動が社会人としての責任と規律を重んずる場であり、また自主性に富んだ人間育成の場となる。

本校の課外活動は、学生会のもと表3.3.4に示す部、愛好会が結成され、活動している。これらの部、愛好会に所属する学生の活動を助成するために、自主運営という形を維持しつつ、さまざまな形で助言、指導できるよう教員が活動に関わっていく必要がある。

[平成15年度における主な大会で上位入賞した部の紹介]

【県高校総体四国大会】

卓球男子シングルス ベスト8 越智 優介(3E) 四国大会出場

【四国地区高専体育大会】

サッカー 優勝 全国大会出場
 男子バスケット 優勝 全国大会出場
 女子バスケット 優勝 全国大会出場
 硬式野球 優勝 全国大会出場
 男子バドミントン 優勝 全国大会出場
 女子バドミントン 優勝 全国大会出場
 陸上男子800m 3位 高橋 正人(4E) 全国大会出場